

旅館・ホテル・民宿業、飲食業、小売店・直売所などの事業者のみなさまや、地元の食や自然、生業などを活かした取り組みをお考えのみなさま。

地域の資源（タカラ）を活かした、観光地域づくり ムラにインバウンド 外国人旅行者受入実践講座

この講座では、現在営まれている本業や、地域の資源を活かすことで、外国人旅行者をムリなく受入し、地域づくりにつなげていくポイントを実践的に修得します。現在、すでに観光関係の事業に携わっている方はもちろん、これから「インバウンドって何んぞや？」と関心をお持ちの方も、ぜひご参加ください！

受講無料

▶ カリキュラム

第1回 「農山漁村に泊まる」×「インバウンド」で、地域を活かす！～インバウンドの可能性～

8月27日（月）15時～17時 講師：エバレット ケネディ ブラウン 氏 藤瀬 吉徳 氏

一言に「インバウンド」といっても、大都市や有名観光地に訪れる団体旅行者と、地方都市や農山漁村をじっくり回る少人数の旅行者とでは、求められる価値やサービスも大きく異なります。「うちにはなにもない」といわれていたムラに多くの外国人が訪れる例も少なくありません。ここでは、外国人が心動かされる日本の農山漁村（ムラ）の魅力を切り口に、「インバウンド」旅行者受入を活かした地域づくりの可能性を議論します。

第2回 海外の方々がムラに泊まるとは？～外国人旅行者に選ばれる地域に必要なコト～

9月30日（日）15時～17時 講師：パルマ タイラー 氏 飯干 淳志 氏 島村 菜津 氏

日本の農山漁村（ムラ）で、外国人旅行者を実際に受け入れるためには、具体的にどのようなモノ・コトが必要なのでしょうか？「英語が話せない！」「何を食べさせればよいのか！」など不安はつきません。ここでは外国人旅行者向けのツアー企画、受入、そして「食」の魅力に精通した第一線の方々をお招きし、外国人旅行者に選ばれる農山漁村に必要な「おもてなし」「食」「料金設定」「情報発信」などについて具体的に議論します。

第3回 地域の自然資源を活かしたインバウンド受入実践～大人の「野遊び」が地域を動かす！

10月29日（水）15時～17時 講師：後藤 健市 氏 山口 久臣 氏 粉 大輔 氏

外国人旅行者の受入を一過性のイベントに終わらせることなく、持続的な地域づくりにつなげていくためには、適正な「お金」が地域を循環する仕組みが不可欠です。ここでは、日本の農山漁村（ムラ）には必ずある地域資源（タカラ）のひとつ「自然」を活かして、少人数・高単価の受入を継続的に実践する方法「野遊び」について、アウトドアフィールドの第一線の専門家をお招きし議論します。

- 講師の方々のプロフィールについては、裏面に記載しております。
- 各日ともに、講座終了後、同会場にて、講師の方々にご参加の皆様方とのざっくばらんな意見交換を目的とした交流会を予定しております。（会費3,000円）ぜひ、あわせてご参加ください。
- 遠方よりお越しの方で、ご宿泊を希望される方には、宿泊施設のご案内も可能です。
- 皆様のご希望に応じて、翌日午前中に「世界文化遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の一部のご案内も可能です。お気軽にご相談ください。（要実費）

▶ 会場

鉄板ダイニングWAKASIO
福岡県宗像市上八757-1
（県道300号線沿い 民宿しらいし 隣）
電話：0940-72-5272

▶ お申込・お問い合わせ

HP:右記QRコードより
MAIL:munakata@9mura.net
FAX:092-482-3710
※当日のお申込み・ご参加も大歓迎です。
皆様お気軽にご参加ください。



ムラにインバウンド外国人旅行者受入実践講座

講師・プロフィール (敬称略・登壇順)

フォトジャーナリスト

エバレット ケネディ
ブラウン



写真家、湿板光画家、国際フォト、元EPA通信社日本支局長、文化庁長官表彰(文化発信部門)被表彰者。1988年から日本に定住。欧米の主要なメディアで定期的に作品を発表している。著書に「失われゆく日本」(小学館)ほか多数。

農家民宿 具座

代表
藤瀬 吉徳



築90年の納屋と牛舎を改築整備して、平成18年より農家民宿の営業を開始。平成28年放送のタイのドラマのロケ地となったことをきっかけに、海外のお客様が急増。フェイスブックやブログで地域の魅力も広く発信。

インサイドジャパン・ツアーズ・リミテッド

マネージャー
パルマ タイラー



旅行業界にて世界7カ国で勤務。これまで70カ国以上を訪問したが、日本を訪れて以降、日本の魅力に惹かれ定住。東アジアの政治経済学の修士を取得。尽きることのない関心事は、日本の偉大なる食文化にふれること。

株式会社高千穂ムラたび

代表取締役
飯干 淳志



役場退職後、無名の限界集落「秋元」を拠点に、斬新な山村ビジネス起業に着手。「ムラたび」による山村価値の向上に取り組み、年間約3万人の交流を生む。第3回「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」特別賞受賞。

ノンフィクション作家

島村 菜津



東京藝術大学卒業。十数年にわたって取材したイタリアの食に関する「スローフードな人生!」はスローフード運動の先駆けとなった。著書に「エクソシストとの対話」(21世紀国際ノンフィクション大賞優秀賞)他。

株式会社
スノーピーク地方創生コンサルティング

代表取締役
後藤 健市



東京での仕事を経て地元・十勝に戻り、まちづくり活動に携わる。北の屋台、スノーフィールドカフェ、場所文化フォーラム等の立ち上げや運営、場所の価値を生かした地域づくりの企画・提案並びに実践を行っている。

一般社団法人アイ・オー・イー

代表理事
山口 久臣



熊本へにて昭和61年に野外教育、環境教育、国際教育の民間専門事業所「野外教育研究所IOE」を設立。所長へ。平成3年にNGO、NPO「コミネット協会」を発会。認定NPO法人地球市民の会理事長

株式会社VISIT九州
株式会社コレゾ

代表取締役
粉 大輔



韓国の個人客向け旅館予約ポータルサイト「KYUSHU-RO(九州路)」や復興庁のプロジェクト立ち上げに関わり、10年を超える取り組みを進め、韓国を始めたとしたインバウンド個人客向けサービスに精通している。

一般社団法人 九州のムラ

代表理事
養父 信夫



「九州のムラ」編集長として、地域に生きる人々の暮らしを中心に取材を重ね、ムラとまちを繋げる。また講演や地域づくりのアドバイザーなど、グリーン・ツーリズム等の啓発活動も積極的に行っている。

お申込書 (FAX: 092-482-3710)

ご参加回	<input type="checkbox"/> 第1回	<input type="checkbox"/> 第2回	<input type="checkbox"/> 第3回
お名前	複数人でご参加の場合は、ご参加の皆様のお名前をご記入ください。		
ご所属			
ご連絡先			
交流会	<input type="checkbox"/> 参加する	<input type="checkbox"/> 参加しない	
ご質問事項			